

北九州市立大学講演ご紹介

2017年6月29日(木)北九州市立大学にて1年生を対象にした「キャリアデザイン」の講演を依頼され、約200名の受講生に国際化が進む社会で自分らしく活躍する職場を見つけるために、大学生活4年間でいかに過ごすかについて70分程度お話しする機会をいただきました。

学生の皆さん講演を聴講いただきありがとうございました。

私は国際化とは無縁の田舎で生まれ育ち、英語が大嫌いだった中学時代に修学旅行で訪れた中国で、外国語やコミュニケーション力の重要性に直面して以来、語学や異文化理解の必要性を感じ、日本で働くうえでも国際教養が必要不可欠だと思うようになりました。

大学時代はミッションスクールで英文学を専攻し、在学中に豪州と米国への交換留学を経験。文学や宗教を通して世界中の文化や慣習等を考察した4年間は、人生で一番勉強した時期でもありました。

社会に出て7年、新卒採用された菓子メーカーの海外事業部で社会人生

活を始めて以来今日まで一貫して食品の海外営業に携わってきました。当社でも国際色豊かに日本の伝統食「いなり寿司」を世界に売り込む仕事をしています。

海外での商談や市場調査では大学時代に身につけた国際感覚が活かされ、毎日楽しく自分らしく仕事ができる環境に心から感謝しています。

田舎の企業で自分らしくキャリアを積んでいくグローバルキャリア。「Think Globally, Act Locally (グローバルに(世界的に)物事をとらえ、地域社会に反映させる)」をモットーにこれからもグローバルに自分らしく仕事に取り組んでいきたいと思うとともに、今回の受講生が数年後大企業志向に陥らず、地方の企業の魅力に気づいてくれることを期待しています。



九州市立大学講演様子
海外営業室主任 野寄 はるか